

農村振興局長賞（捕獲鳥獣利活用部門（団体））

捕獲個体の搬入から解体・処理加工まで地域一体となって、また、処理設備・焼却施設や在庫管理システムを活用し効率的に実施。安全・安心な村内産ジビエとして、ジビエフェアの開催や学校給食への食材供給等、普及に取り組み、獣害軽減や雇用創出を実現。

にしめらそん にしめらそん しよりかこうしせつ しよりかこうしせつ 西米良村ジビエ処理加工施設

（代表取締役：小佐井 こさい 武憲 たけのり） こゆぐんにしめらそん

主な取組

宮崎県児湯郡西米良村

- 平成26年、獣害軽減や地域活性化・雇用創出を目的にジビエ利用の取組を開始。平成30年3月に現在の施設を整備し、令和元年5月に、九州では初、全国で4番目となる国産ジビエ認証を取得。
- 鳥獣被害対策実施隊の捕獲隊員が捕獲個体を搬入し、当該施設において解体と処理加工を実施。捕獲個体を施設に搬入することで、埋設処理にかかる時間と労力が軽減し、捕獲効率や意欲が向上、農地周辺の加害個体の捕獲が進み、被害軽減に繋がっている。
- 筋膜除去機やリキッドフリーザー等の活用による処理時間短縮や、焼却炉の導入による解体処理残渣の衛生的かつ効率的処分により、多くの個体受入が可能になった。また、在庫管理システムの活用により、効率的な在庫管理とトレーサビリティを実施している。
- 外部講師による研修や、解体処理に長年従事している職員によるOJT等により解体処理加工と衛生管理の技術向上を図っている。
- 平成27年から毎年開催している「西米良ジビエフェア」や、村内小中学校への給食食材の提供及び小学校での出前授業の実施など、村内外でのジビエの普及に取り組んでいる。
- 地域おこし協力隊の受け皿として、雇用・定着促進の一翼を担っている。

【利活用実績】

利用率（シカ・イノシシ） 0.0%（平成25年度）→36.4%（令和2年度）